

今治市内中心部学校適正配置地元代表協議会 中間まとめ

	質問等	事務局回答等
学校に関すること	1 この基本方針に沿った協議しかないのか。例えば、小中一貫校等の意見が出てもいいのか。	まずはこの基本方針で提示させていただいたプランについて検討いただきたいが、詳細についての検討の余地はあるので、ご意見はいただきたい。
	2 小学校（中学校）だけ統合するとか、3校だけで統合するとか、基本方針にない組み合わせの統合などを議論の対象としてもいいのか。	子どもの教育環境を整えるのが第一であるから、基本方針以外の組合せも選択肢の1つだが、将来また少なくなったからといって、何度も統廃合を繰り返すのは、大変なことである。最低20～30年は続けられる学校を作っていただきたい。無論、個々の学校をどうするかという事も考えていくが、日吉小も小規模校であり、男女差が大きい学年もある。そういう事も踏まえて、まず日吉小なり個々の学校の状況を見ていただき、さらに他の学校の状況も知っていただいた上で、市内中心部の小規模校を全体としてどうするかという観点からも是非ご協議いただきたい。本会与各校PTAの結論に相違がある場合どうするかという点については、その問題や、またその他の課題についても、まずどのようにそれを解決するかという観点からの協議を十分にお願したい。そして、その協議を通じて、結果として「どのような形（統合校の組合せも含めて）の統合であれば合意可能であるか」ということではないかと考えている。
	3 この会が4校の統合でスタートしているので、選択肢が少なくて難しい。美須賀と日吉、日吉と今治など、色々な組み合わせのバリエーションもあるだろうが、4校統合を基本ベースに考えてくれ、ということなので難しくなっている部分があるのではないか。	
	4 現状のままで、鳥生小、日吉中はそこそこ人数がいるが、城東小(南側)や美須賀中が統合することにより、学校名が変わる。伝統ある学校が1から新しい学校としてやっていくということで、校名、校章、制服も変わる。今の鳥生小や日吉中の保護者が納得してくれるか。	
	5 日吉で、現状のままだがよいという意見が出たら、この会自体が終わってしまうのか、とにかく2年間は協議するのか。協議会の最終結論が概ね賛成なら、もし日吉や城東が反対していても、4校の話で進んでいってしまうのか。PTAの結論と、この会の大きな結論とが違っていった場合にどうなるのか。	
	6 何人かを切ったら学校を失くすといった規定はあるのか。	
	7 教員について	・美須賀中の免外教員指導による教科は、技術と美術 ・日吉中で1教科に配置されている最多教員数は、4名
	8 最初の2～3年だけでも、先生を1学級に2人配置するような配慮は可能なのか。	全ての学級には無理かもしれないが、出来るだけの配慮はする。
	9 複式学級とは、こういったものなのか。	1年生を含む場合、1・2年生を合わせて8人以下、2年生以上で16人以下の場合、2つの学年を1つの学級として編成する、といったもの。同教科、同単元、異内容の授業を行う。組み合わせについては、下の学年から組み合わせていく。
	10 複式の学校と、そうでない学校では、学力に差が出ているのか。	家庭等の協力無しでは、学力についての保証は難しい。
	11 複式は駄目だ、という考えを持たないようにした方がいいのではないか。	子どもたちの教育環境を考えた場合、やはり非常に問題があると教育委員会は認識している。
	12 合併の話が出て、美須賀中に行く子の親は不安を感じている。進学率の80%はもっと悪いのではないか。	美須賀中校区人口(12～14歳)に対する美須賀中への平均進学率 平成21年度 70.8% 平成22年度 80.0%
	13 中学校の合併については、受験もあるため、合併するなら、タイミングが重要である。	子どもの負担をなるべく軽減するよう十分にご協議いただきたい。

今治市内中心部学校適正配置地元代表協議会 中間まとめ

	質問等	事務局回答等
学校に関する事	14 在校中の子ども達がストレス無く過ごせるような経過措置等も考えていただきたい。	統合、ということになれば、対象校間で事前に交流を深めながら、新しい学校に入る方策を取らせていただくつもりである。
	15 子ども達は、今治の学校ならどこの学校にでも行けるのか。	校区制度というがあるので、子どもは地域の学校に行くというのが原則である。
	16 校区の見直しを適正にしていればいいのか。	校区の見直しについては、通学区域調整審議会でも検討いただいた。校区の再編を行っても、長期的にも少子化が更に進行すると考えられ、その場合、小規模校を増やすだけとなることや、全市的な見直しを行わなければならない、自治会はじめ、各組織の編成にまで波及することを考えた場合、校区の再編は行わず、学校の統廃合を基本として検討するということであった。教育委員会としても、校区の見直しは考えていない。
	17 耐震構造について、各学校、全てクリアしているのか。	今治小学校、美須賀小学校に整備計画中のものがある。今後、耐震補強をしていく。補強については、急を要するものとそうでないもので順をつけており、少し後の方になる。日吉小学校については、体育館は耐震補強済みで、校舎は新基準になっている。城東小学校も新基準である。美須賀中学校については、新基準のものと旧の基準のものがある。旧の基準というのは、整備計画があるということである。日吉中については、大体新基準となっている。
	18 美須賀小は0歳児まで複式にはならないのではないのか。人口の統計から、今後入学してくるであろう人数が、ある程度わかる。いきなり来年から複式だというようなことで慌てるようなことにはならないのではないのか。	美須賀小については、現在の資料（統計）通りのままならば、来年度から複式学級になるというわけではない。しかし、美須賀地区に住民登録があっても、他地区の学校へ入学する場合がある。少人数のため、1人のウエートが高い。複式ではないが、小規模化が進んでおり、本会での協議は進める必要があると考えている。
19 城東小については、それなりに人数もいて、メリットもデメリットも中途半端。3校合わせても、普通の規模にならないから城東を入れているのではないのか。	通学区域調整審議会での審議の中で、城東小についても、将来安定して2クラスを維持できない点、また、今治市内中心部には、安定した適正規模の学校を持つべきであるとの考えから、まず、今治・美須賀・日吉・城東の4校での統合案の検討を行った。その中で、中学校の校区との整合性を図るべきであるとの意見から、今回の城東小を蒼社川の北と南で分割する案の提案となっている。	
地域に関する事	20 城東小の校区だけ分割されてなくなる。今まで地域と作ってきたコミュニケーションもなくなってしまう。校区を分けずに、協議してはどうか。	将来、城東小も1学年1クラスになることが予想される。今治市の中心部として、一緒に考えていただきたい。答申では、川を挟んで北と南に分かれているが、城東校区を1つとして4校での統合も考えたらどうか、という意見もあり、今後協議していきたい。
	21 校区を割ると、消防活動、婦人会などの行事で城東は困ると思う。特に消防が問題になってくるのではないのか。	現在も、城東の川からこちらは、美須賀消防に入っている。川向こうは、立花の消防に加盟している。

今治市内中心部学校適正配置地元代表協議会 中間まとめ

	質問等	事務局回答等
その他	22 基本方針を変えるとか、統合を先延ばしにするなどという余裕が、今治市の財政にあるのか。	長期的な視点で考えるならば、学校統合により、減った学校の建替え等の経費が不要になる訳であるから、その部分での財政負担は軽減される。 1校当たりの経費については、大きな部分を占める人件費等については、県負担のため詳細は不明であるが、市の平成22年度予算の教材費等、学校運営経費や施設維持管理経費等の経常経費を単純に学校数で割った場合、小学校中学校ともに、概ね2千万円程となる。学校等にかかるコストについて、市全体としてみた場合の市財政等をご心配いただいた質問ではないかと思う。ご意見は行政として十分に受け止める必要があると考えている。ただ、現在の地元代表協議会での協議については、教育委員会として、まず、教育面から学校小規模化の現状をどうするかという協議をさせていただいている点、ご理解いただきたい。
	23 1つの学校を維持していくのに、1年間でいくら位の経費が必要か。	
	24 統合ありきで進んでいくのではないのか。	2年間協議し、結論が出ない場合もあろうし、違う答えが出る可能性もあると思っている。
	25 協議会の公開は、どのように知らせるのか。マスコミが書く内容については、チェックできるのか。	教育委員会のホームページ等で、事前に日程等をお知らせする。マスコミの記事については、チェックはできない。
	26 協議会で正式に認められた部会をぜひ作ってほしい。部活の問題等、小学校の合併と中学校の合併は少し違う考え方があるのではないのか。	どなたかから要請が出た時点で、検討したい。
	27 約2年間議論して、合意が得られず、結果ゼロになる可能性はあるのか。	議論を重ねた上で、やはり統合しない方がいいという結論になる可能性は、ゼロではないと思う。
	28 立場によって、温度差がある。その差はだれが埋めるのか。	地域の理解を得ながら、学校をどうしていくか、考えていただきたい。その協議を通じて、「どのような形であれば合意可能であるか（温度差が埋まるか）」とうことではないかと考えている。
	29 副会長が、今年度をもってこの協議会の委員でなくなるが、どうするのか。	副会長は、会長から適切な方をご指名いただくが、委員の中から選出されることが望ましい。
	30 最後は、どういう風にして決めるのか。多数決か。	審議を深める中で、多数決を取る必要が出てくる場面があるかもしれないが、事務局としては、多数決という方法は適当ではないのではないかと考えている。ただ、100%賛成という事は、難しいと思う。課題について、どういう形であれば合意が可能かという点で協議いただき、結果として多数による合意を得るという方向で検討していきたい。
	31 2年間もかけず、もっと早くできないか。	「早くしてください。」という声が挙がれば、出来るだけ早くさせていただく。
32 この会は、最終的に「意見書」を出す会なのか。合意形成が得られた場合にだけ、「意見書」を教育委員会へ提出するのではないのか。	どこまでを合意と見なすか、協議の見直しとすることについての正確なものさしは、今の段階では持っていないが、そのときの多数の意見で判断いただくようになると事務局レベルでは考えている。2年間かけて議論してきた成果を、意見書という形でまとめ上げていただきたい。	

今治市内中心部学校適正配置地元代表協議会 中間まとめ

	質問等	事務局回答等
33	市の方でアンケートを作ってもらえないか。アンケートで、具体的に聞くのが一番良いのではないか。また、実際にアンケートを取る場合、個々に配るのではなく、学校を介して取ってよいか。	現状について、皆で十分共通認識が持てた、というのがアンケートを取るタイミングの指標になる。そのタイミングを考えていただけたらありがたい。アンケートは影響も大きく、慎重にとっていただきたい。実際取る場合には、学校の担当とも相談して返事させていただいたらと思う。